

タイトル	ふるさと発見ワークショップ事後アンケート集計結果				
内容	<p>10月30日に市内中学校で開催したふるさと発見ワークショップの市内中学校、三年生全員の事後アンケートの集計と考察を行いました。</p> <p>郷土で暮らそうという意欲が高まった</p> <p>実施前の将来住みたい所では全体として「山梨」が29%「東京」が22%でしたが、明見中では「山梨」が27%「東京」が32%と唯一東京が上回っていました。同校の事後アンケートでは将来地元で暮らしたいという数値は実施前34.5%でしたが実施後は52.8%（18.3%増）と最も増加しています。一方、富台中では将来住みたい所は「山梨」が65%「東京」が9%と最も地元志向が強かったのですが同校の事後アンケートでは将来地元で暮らしたいという数値は実施前57.4%、実施後は69.3%（12.0%増）とこちらも増えていました。ほかの2校も含め将来地元で暮らしたいという数値は13.5%増えていて、「講師の話から富士吉田がどれだけ良いところなのかを知った。」「地元で働くことに興味を持った」など、全校で地元の良さを講師から学び、地元愛を醸成することができたと感じます。</p> <p>働くことの意義、楽しさを知ることができた</p> <p>4中学校平均で「働くことの意義・楽しさ」を学んだという意見が26%と最大でした。「今まで仕事は大変で苦しくても生きていくために必要なことだと思っていたが、大変ことだけではなく楽しいこともあるのだと知ることができた」、「私の人生にいかせる時間になった」、「将来が不安だったが自信を持つことができた」などの意見がありました。</p> <p>来年以降の取り組み</p> <p>今回の調査で「ふるさと発見ワークショップ」は特に他県出身や定住歴のある方からのお話で「郷土の良さを気付くことができる」効果が確認され、ほかの講師からは仕事が人間形成のため大切だというお話で「仕事の意義・楽しさ」を有効に伝えていただいたので、来年以降は2点に重点を置いたお話をお願いしようと考えています。更に、今後も本事業を発展させ、生徒の意識調査も継続し全市中学生の郷土愛の醸成とキャリア発達を図ります。</p>				
問合せ	教育研修所	担当者名	三浦	連絡先	内線 515
備考					